

ジャパネット杯 平成27年度 第39回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

10

男子 女子 2 回戦 ・ 準々決勝 ・ 準決勝 ・ 決勝

会場 グリーンアリーナ神戸 B コート

チーム名	総得点		総得点	チーム名
県立和歌山商業	17	9	17	県立四日市商業
		8	19	
		—		
		—		
		—		
		7mTC		
			36	

スローオフは四日市商業。先制点は 四日市商 16 番（渡邊）。序盤から終始、四日市ペースで進行する。

和歌山商の数少ない得点チャンスも、四日市商のキーパー（舟久保）の好セーブに阻まれる。6分を経過

し和歌山商 7 番（渡邊）のシュートが決まりようやく 1 点を返すが、その後も四日市商が優勢のまま、試合

は進む。中盤に近づき、和歌山商が連続得点し 10 対 4 と追いついた時点で、四日市商はタイムアウトを取る。

その後、四日市商はまたペースを取り戻し順調に加点し引き離しにかかるが、和歌山商業も必死で食い下がる。前半は 17 対 9、四日市商業の 8 点リードで終了。

後半も、四日市商は堅い守りから攻撃に転じ、15 番（村田）を中心に得点を重ねる。14 分を経過し四日市

商はメンバーをチェンジし、得点源の 15 番（村田）をベンチに下げる。和歌山商も得点を返し始めるが得点

差は縮まらず、27 分を経過した時点で、32 対 17 で四日市商が 15 点リード。試合終盤にも四日市商は、

連続得点し、36 対 8 のスコアで勝利した。

2016 年 3 月 25 日

記載者氏名 正田 慎

戦 評 用 紙

男5

男子・女子 2 回戦 ・準々決勝 ・準決勝 ・決勝

会場 神戸市立中央体育館 コート

チーム名	総得点		総得点	チーム名																		
大分	42	<table border="1"> <tr><td>18</td><td>—</td><td>13</td></tr> <tr><td>24</td><td>—</td><td>13</td></tr> <tr><td>—</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>—</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>—</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>7mTC</td><td></td><td></td></tr> </table>	18	—	13	24	—	13	—			—			—			7mTC			26	國學院大學栃木
18	—	13																				
24	—	13																				
—																						
—																						
—																						
7mTC																						

2回戦、岩国（山口）に勝利した國學院栃木（栃木）と初戦となる大分（大分）の対戦

は、栃木のスローオフで始まった。先制したのは大分、栃木の最初の攻撃をパスカットし、

7番山田がシュートを決めた。栃木もすかさず、8番館野のポストシュートで応戦。

両チームとも攻め、守りともよく動き、GKも好セーブを連発した。栃木がリードした時

間帯もあったが、13分過ぎから大分の6連続得点もあり、再び大分がリードした。

25分過ぎからは大分ペースとなり前半は、18対13で大分リードのまま終了した。

後半は、大分の連続得点に始まった。栃木は大分の堅い守りに攻めあぐむ様子も見られ

たが、6番緒方、7番茂呂のシュートで食らいついた。しかし、大分9番本田の活躍はそ

れを上回り、中盤には10点差となった。栃木は退場者もあり、波にのれない。栃木は

さらに得点を重ねていく。結果、全国選抜初出場の大分が、42対26と大勝し、次に駒

を進めた。

平成 28 年 3 月 25 日

記載者氏名 小川 健三

戦 評 用 紙

16

男子 ・ 女子 2 回戦 ・ 準々決勝 ・ 準決勝 ・ 決勝

会場 高砂市総合体育館

コート

チーム名	総得点		総得点	チーム名	
法政第二	32	15	—	10	愛知
		17	—	13	
		—	—	—	
		—	—	—	
		—	—	—	
		7mTC			

2 回戦、初戦九州学院高等学校を下した愛知高等学校と法政第二高等学校との対戦。スローオフ

直後から法政第二高校は変則DFで愛知高等学校を攻め立て早い攻撃に繋げ得点を挙げる。対す

る愛知高等学校も20番秋田を中心とするコンビネーションでそれを退け得点を重ね、一進一退

の競り合いが続いたが21分頃に流れが変わる。愛知高等学校のミスに加え、法政第二高校16

番高橋のナイスセーブ等で速攻に持ち込み、5連続得点でリードを奪い前半を10対15で折り返す。

後半に入り流れを変えたい愛知高等学校だったが、スローオフ直後に2番佐藤が退場、さ

らにその直後に立て続けに退場が重なる。その間に法政第二高等学校は大きくリードを奪う。

リードを奪われた後も愛知高校5番城元のミドルシュート等で得点を重ねるが攻撃の手を緩め

ず追いつがる愛知高等学校を振り切った法政第二高等学校が次の試合に駒を進めた。

28年 3月 25 日

記載者氏名 中村 健斗

戦 評 用 紙

16

男子 女子 2回戦 ・ 準々決勝 ・ 準決勝 ・ 決勝

会場 加古川市立総合体育館 コート

チーム名	総得点		総得点	チーム名	
洛北	23	10	11	19	佼成女子
		13	8		
		7mTC			

初戦松橋高校を下した佼成女子と洛北との戦い。洛北のスローオフで試合開始。序盤佼成女子はオールマンツで相手のミスを誘うが、洛北の粘り強い守りに決定的な連取ができない。洛北は佼成のDFに徐々に対応し、8番南や6番鳥山のシュート等で連取する。佼成がTMを取り、8番阿部や6番山田のシュート等で取り返す。洛北はキレのある1対1をしかけ続け、チャンスを確実に点数につなげる。27分に洛北に退場者が出たため、佼成4番金城が7mスローを確実に決め一気に逆転し、11-10で前半を終了した。後半開始3分、洛北2番石川のシュートで同点とした。5分に佼成に退場者は出るが、洛北はリズムを作れない。そこから互いに連取をさせず、両校のGKの好セーブが続く。大きく試合が動いたのは後半17分。佼成に退場者が出たため、洛北はそのチャンスを活かし一気に3点差にする。佼成は洛北の堅い守りを破れず、焦りからシュートが決まらない。佼成のオールマンツは最後まで粘りよく守ったが、洛北が23-19で逃げ切り、3回戦へ駒を進めた。

2016年 3月 25日

記載者氏名 櫻井 寛子